



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 333名 令和6年7月1日(月)



『「家庭、地域、学校の連携」を考える』

校長 小川 哲

梅雨入りした途端、湿度が上がり朝から暑さを感じるようになりました。子供たちが育てている植物が元気に花や実をつけています。もちろん子供たちも成長中です。



本校では「桜町小 よい子のやくそく」を作成し、年度初めに子供たち、保護者の皆様に説明し、子供たちが安全に生活を送れるようにしています。ご理解いただき、ここまで進めてこれていることに感謝いたします。当然、この約束に

則って学校で指導しているのですが、ここに記されていないものもあれば、この約束の先にあるものもあります。細かくは記しませんが、「よい子のやくそく」以外のところは原則「うちのルール」です。ぜひ、ご家庭で線を引いていただいて「うちはこのルールだよ」としていただければと思います。例えば、携帯電話について、学校で指導はできますが、管理はできません。「もつ」「もたない」も含めて、モラルに準じた「うちのルール」の中で判断していくこととなります。「うちのルール」は「うちのルール」です。保護者の皆様、ぜひ、「うちのルール」をお子様と大切にしていいただければと思います。

子供たちは校外でも日々元気よく遊んでいます。その中で、ちょっと危ない場所に近づいてしまったり、間違った言動をしてしまったりすることがあります。声をかけたほうがいいなと思った時には、ぜひ「危ないよ」「それはだめだよ」と声をかけていただければと思います。時々、学校に連絡をいただき、その場に行ったり、翌日だれかを探して話したりするのですが、やはり、その時に声をかけていただき、学校でだめだと言われることは地域でもだめなのだ気づかせていただければと思います。地域の皆様、ぜひ地域でも子供たちを育てていただければと思います。

最後に、子供たちは日々友達とぶつかりながら様々なことを学んでいます。その中で、教員の私たちは「どう支えていくか」、その時の状況を把握し、必要な支援をしていきます。しかし、子供一人一人は違いますし、状況もことなることから、その対応は多種多様です。ですので、子供たち、ご家庭、学校で話し合いながら進めていくことが必要です。

「一緒に考えていきたい」と、学校は常に考えていますので、保護者の皆様、一緒に取り組んでいきましょう。

子供たちは小学校卒業の先も未来が続きます。だからこそ、学校教育が終わった後も見据えて、「家庭、地域、学校」が一緒になって、子供たちの心身共に健康な成長を支えていければと思います。「家庭、地域、学校の連携」とは今回記したようなことから始まるのではないのでしょうか。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。